

# AMCoR

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

小児科 (2008.05) 49巻6号:763～764.

目で見る小児科

MR venographyが診断に有用であった脳静脈洞血栓症の1歳女児例

松本直也, 鳥海尚久, 更科岳大, 立花幸晃

# MR venography が診断に有用であった 目で見る 小児科 脳静脈洞血栓症の1歳女児例

JA 北海道厚生連網走厚生病院 小児科

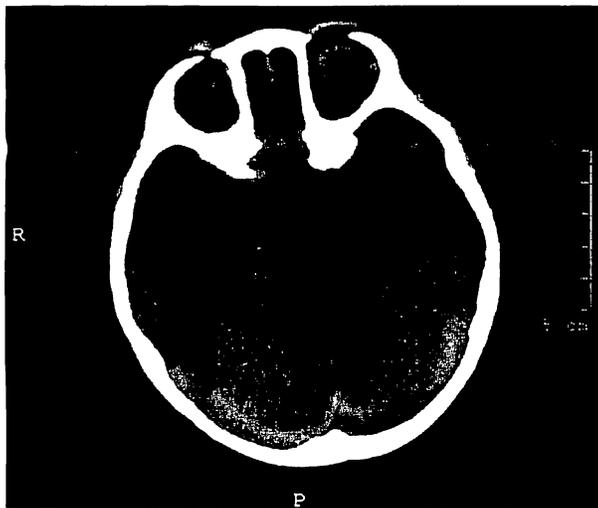


写真1 頭部単純 CT  
cord sign を認める.

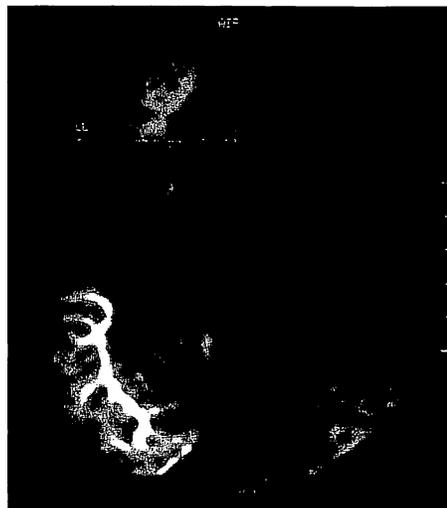


写真2 頭部 MRI 拡散強調画像  
右前頭葉と後頭葉の皮質下白質に高信号域を認める.

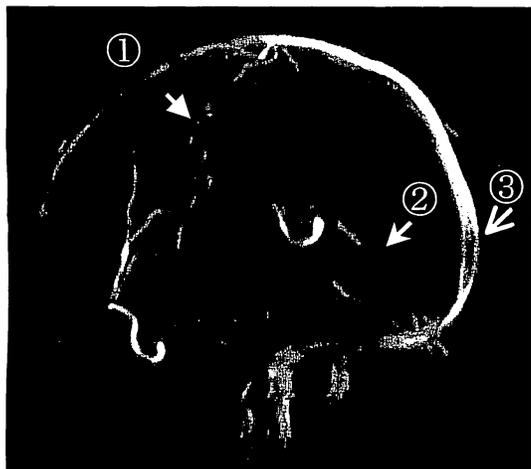


写真3 MR venography (発症時)  
① 静脈の異常拡張と蛇行, ② 直静脈洞の閉塞,  
③ 上矢状静脈洞内の血栓を認める.



写真4 MR venography (回復後)

MR venography が診断に有用であった  
脳静脈洞血栓症の1歳女児例松本 直也<sup>1)</sup> 鳥海 尚久<sup>1)</sup>  
更科 岳大<sup>1)</sup> 立花 幸晃<sup>1)</sup>

## I. 症 例

[症 例] 1歳0カ月, 女児

主訴: 発熱, 咳嗽

現病歴: 5月30日頃から咳嗽と38℃台の発熱があり, 近医小児科にて加療を行っていた。咳嗽, 発熱が遷延し6月7日に当科を初診し入院となった。

既往歴: 周産期に異常の指摘はなく, 発達の遅れもない。

家族歴: 特記事項なし

現症: 体格は年齢相当で, 心肺腹部に異常所見はなく, 中耳炎もなかった。左右頬部に皮下出血斑を認めた。表情がなく, 活気に乏しい顔が印象的であった。

検査所見: WBC 11,500/ $\mu$ l, RBC 391 $\times$ 10<sup>4</sup>/ $\mu$ l, Hb 9.3 g/dl, Ht 27.9%, Plt 40.1 $\times$ 10<sup>4</sup>/ $\mu$ l, AST 41 IU/l, ALT 15 IU/l, LDH 550 U/l, BUN 8.9 mg/dl, Cre 0.24 mg/dl, UA 3.5 mg/dl, CRP 0.27 mg/dl, 尿ケトン体-

経過: 急性気管支炎として入院後, 体温は37℃前後で気道症状も回復していた。しかし, 3日目の朝に左上下肢の間代性けいれん(意識あり)が群発したため以下の検査を施行した。

脳波検査: 右脳全域にわたって棘波が多発しており, ミダゾラム投与により棘波の消失およびけいれんの頓挫を確認した。

頭部単純CT: 血流停滞に伴い静脈洞や皮質静脈が拡張し高吸収域となる所見(cord sign)を認めた(写真1)。また, 右脳の腫脹と脳溝の狭小化を認めた。

頭部MRI: 拡散強調画像において右前頭葉と後頭葉の皮質下白質に高信号域を認めた(写真2)。MR angiographyで動脈の閉塞所見はな

く, MR venography (MRV)において, ①静脈の異常拡張と蛇行, ②直静脈洞の閉塞, ③上矢状静脈洞内の血栓が確認できた(写真3)。これにより脳静脈洞血栓症に伴う静脈性梗塞と診断し, ウロキナーゼの静脈内投与を行った。治療開始後5日目に同部位の開通を確認し投与を中止した(写真4)。発症の原因として, 母親より「1週間前に50 cmのテーブルから落ちた」とのコメントを得たが, 育児不安と知識不足があり, 虐待とそれによる頭部外傷も疑われた。その後, 軽度の脳萎縮を認めたが, 発達遅滞やけいれんは認めていない。

## II. 考 察

脳静脈洞血栓症の診断にはMRVが有用である。本疾患はまれな疾患とされていたが, 疾患に対する認知も広がり, 診断例も増加してきている。しかし, 多くは脳神経外科において診断される例が多く, 小児科での認知度はいまだ低いと思われる。本疾患をMRVで診断する際に注意すべきは静脈血管の個体差が大きく<sup>1)</sup>, 見慣れないと正常所見を異常と判断する危険性がある点である。一方, 小児期では感染に伴い発症する場合もあり, 拡散強調画像における高信号域から脳炎と診断し, 誤った治療方針に向かう可能性もある。本疾患を鑑別疾患に挙げ, 慎重に診断を進めることが重要である。

## 文 献

- 1) Widjaja E, Griffiths PD: Intracranial MR venography in children: Normal anatomy and variations. AJNR Am J Neuroradiol 25: 1557-1562, 2004

1) Naoya MATSUMOTO et al. JA 北海道厚生連網走厚生病院小児科

[連絡先] ☎093-0076 北海道網走市北6条西1丁目9